長野県中学校体育連盟　軟式野球専門部

【令和４年度】新型コロナウイルス感染症　感染防止対策

（１）試合以外での感染防止対策について

① 会場入口で手指消毒を行う。（大会本部で用意）

② 全ての参加者は、試合時以外は原則としてマスクを着用する。但し、ソーシャルディスタンス（２ｍ程度）を確保できる場合には、マスクを外すことも可とする。

③ 試合前、試合後の手洗いを励行する。

④ 試合終了後、使用したベンチ内を消毒する。なおアルコール消毒等は各チームで用意する。

・アップ会場についても同様に、使用したベンチ等を消毒する。

⑤ 会場内への入場は大会本部の指示に従う。指示があるまでは入口にて待機する。

⑥ 昼食は本部から指定された場所でとる。また、ソーシャルディスタンスの確保や、手洗い・うがい及び手指消毒を徹底する。

⑦ 試合終了後は迅速に会場外に出る。

⑧ 手拭き、汗拭き等のタオルは共用しない。

⑨ ゴミは各自できちんと持ち帰る。（トイレのゴミ箱に捨てない）

（２）試合中の感染防止対策について

① 攻守決定の際の主将同士による握手は行わない。

② チーム内であっても握手、ハイタッチ等は行わない。また、向かい合っての円陣も行わない。

③ 監督、コーチ、試合に出場していない選手はマスクを着用することが望ましいが、熱中症対応にも十分留意する。また、ベンチ内においてソーシャルディスタンスが確保できない状態で、マスク未着用のまま応援や会話をすることは控える。

④ 攻守交代時の円陣を組んでの指示伝達は選手間の間隔を十分とるとともに、監督は大声を出さない。

⑤ 試合開始・終了時は、一塁線・三塁線にそれぞれ整列し、主将のみがホームベースを挟んでバッターボックス付近に立つ。審判員の合図で一礼し、声は出さない。

（３）観戦について

① 観戦者は部員の家族のみとし、観戦できるのは、当該チームの試合のみとする。試合終了後、観戦者席を消毒し、速やかに会場外に出る。（消毒液等は各チームで持参する。）次の試合の観戦者は、本部（観戦者誘導係）からの指示で入場する。

② マスクの着用を義務づける。ただし、十分な距離が確保できる状況下では熱中症対応を優先する。（会話などは控える。）

③ 保護者や応援生徒によるまとまった応援は禁止とする。メガホンでの声援、大声での声援、ハイタッチも禁止とする。また、観戦者同士の間隔を２ｍずつ空ける。（メガホン・ペットボトルを打ち鳴らすことは可）

④ ベンチ入りしない部員は、次の４点を徹底する。

ア 指定されたエリアで、ソーシャルディスタンス（２ｍ程度）を確保する。

イ 大声を発する応援、近接した距離での会話等を行わない。

ウ 適切な感染防止対策、熱中症予防対策を行う。

エ 使用した応援席を消毒する。

（４）健康チェックシートの提出について

全ての参加者は健康チェックシートを提出する。未提出及び不備等がある場合には入場できない。濃厚接触者、発熱及び風邪症状がある者も入場できない。

＜選手について＞

選手は健康チェックシートを各顧問に提出する。顧問はそれをもとに各選手が参加可能かどうか確認のうえ、本部提出用の健康チェックシートを記入し、大会本部（専門委員）に提出する。

※前日または当日に抗原定性検査を受けた選手がいた場合、本部提出用の健康チェックシートの備考欄にその旨を記入する。

＜学校関係者・選手の家族について＞

1. 入場時に検温を行うとともに来場者体調記録表を提出する。なお、来場者体調記録表の提出と引き換えに入場許可証を受け取り、身に付けておく。

② 大会終了後２週間以内に新型コロナウイルス感染症の発症が確認された場合、当該校長は県教委の通達に従い速やかに関係機関に報告する。また、主催者に対しても速やかに濃厚接触者の有無等について報告する。

（５）新型コロナウイルス感染者や濃厚接触者が発生した場合について

選手、選手の家族、観戦予定者、競技役員等に新型コロナウイルス感染者や濃厚接触者が発生した場合、県中体連から示された対応に準ずる。

（６）その他

① 大会関係者（競技役員・救護員）は来場時に健康チェックシート（名簿）に氏名、健康状態、体温を記入する。

② １試合毎に、球場及びグラウンド周辺（ベンチ、トイレ等）の消毒作業を実施する。

　　　 ⇒試合間に「消毒作業」の時間を確保する。

③ ベンチ内にハンドソープを設置する。（※専門部対応）

④ 大会終了後は、使用した場所や用具・器具を消毒する。（※専門部対応）